

大間原子力発電所における仏国原子力安全局で確認された  
原子炉容器等における炭素偏析の可能性に係る調査について（報告）

平成 28 年 9 月 2 日  
電源開発株式会社

当社は、平成 28 年 8 月 24 日に原子力規制委員会より指示文書「仏国原子力安全局で確認された原子炉容器等における炭素偏析の可能性に係る調査について（指示）」を受領しました。

これは、仏国の原子炉容器等において、炭素濃度の高い領域が残っている鍛造鋼が使用された可能性があるとの報告を受け、国内における原子炉容器等についても、その使用の有無などについて確認するものです。

大間原子力発電所においては、原子炉圧力容器の製造方法及び製造メーカーを報告するよう求められたため、本日、原子力規制委員会へ報告しましたので、お知らせします。

また、原子炉圧力容器に鍛造鋼を使用していることから、当該鍛造鋼が規格を上回る炭素濃度領域を含む可能性について評価し、平成 28 年 10 月 31 日までに原子力規制委員会に報告いたします。

添付資料 原子炉圧力容器における製造方法及び製造メーカーの調査結果  
について（報告）

以上